

私立大学図書館協会 2006年度第1回常任幹事会議事録

1. 日 時：2006年4月14日(金) 14:00～15:10
2. 場 所：久留米大学附属図書館 御井図書館 3階 AVホール
3. 出 席 者：配布資料(P1)のとおり

会の開催に先立ち、会場となった久留米大学図書館の西土館長および清原事務部長より挨拶が行われた。

会長校龍谷大学の松井センター長が議長となり開会を宣した後、出席者の自己紹介が行われた。

報告事項

1) 会務報告

(1) 協会加盟校数について

会長校龍谷大学(甲野)より、配布資料(P3-4)に基づき、主として次のような報告がなされた。

2005年度の加盟校数は、2006年3月31日現在、東地区243校、西地区243校、合計486校である。

新規加盟申請は、2006年4月14日現在、東地区3校、西地区2校、合計5校からあり、来る総会で承認された後、2006年4月1日付で正式に加盟校となる。これらを加え、2006年度の加盟校数は、東地区246校、西地区245校、合計491校になる予定である。

加盟館の名称変更については、資料のとおり4校から連絡があった。

(2) 加盟校への資料の送付について

会長校龍谷大学(甲野)より、配布資料(P3-4)に基づき、次の文書を全加盟館に発送したとの報告がなされた。

私立大学図書館協会会費および加盟大学在学学生数調査に関する書類(2006年4月1日付)

平成18年度大学図書館職員長期研修の開催について(2006年4月10日付)

(3) 協会会報の発行について

会長校龍谷大学(甲野)より、会報125号を2006年3月8日付で全加盟館に発送したとの報告がなされた。

2) 委員会報告

(1) 研究助成委員会報告

会長校龍谷大学(甲野)より、配付資料(P4)に基づき報告がなされた。

委員長に、南山大学の栗山義久課長が選出された。

(2) 国際図書館協力委員会報告

会長校龍谷大学(甲野)より、配布資料(P4)に基づき報告がなされた。

(3) 協会ホームページ委員会

会長校龍谷大学(甲野)より、配布資料(P5)に基づき報告がなされた。

3) 協会関連事項報告

(1) 日本図書館協会

会長校龍谷大学(甲野)より、配布資料(P5)に基づき報告がなされた。

(2) 国公立大学図書館協力委員会報告

東地区幹事校早稲田大学(中元氏)より、「日本図書館協会への役員等の派遣」に関する経緯、ならびにこの事に対する同委員会での議論内容と共通認識について説明がなされた。

中元氏の説明を受けて、私立大学図書館協会の今後の方向が協議され、次のような方向で了承された。日本図書館協会の施設会員の派遣について、大学図書館部会の施設会員委員には、国公立大学図書館協力委員会の常任役員校を当て、また部会長校については、今後、国公立大学図書館協力委員会委員長校が分担する。よって、施設会員理事についても、国公立大学図書館協力委員会の常任役員校が担うこととする。施設会員評議員については、私立大学図書館協会の役員校で分担する。

4) その他

(1) 2006年度行事・会議予定

会長校龍谷大学(甲野)より、配布資料(P6)に基づき、報告がなされた。

協議事項

1) 2006年度委員会および協会関連団体等委員について

(1) 委員会

会長校龍谷大学(甲野)より、配布資料(P7)に基づき、主として次のような説明がなされ異議なく了承された。

下線の入っている委員が、新たに今年度から委員となった方である。

研究助成委員会は、協会活動活性化の方策を実行することを目的に、今年度から協会賞審査委員会から分離し、新たに委員を選出・発足したものである。その任期については、当初の任期を引き継ぐ関係上、残りの任期である1年間(2006年4月1日~2007年3月31日)となっている。

協議の結果、異議なく了承された。

(2) 協会関連団体

国公立大学図書館協力委員会

会長校龍谷大学(甲野)より、配布資料(P7-8)に基づき、「大学図書館協力ニュース」編集委員会および「大学図書館研究」編集委員会の委員についても、下線部のとおり委員の変更が生じた。この交代については、既に委員長館である千葉大学へ報告済みである旨の説明・提案がなされた。

協議の結果、異議なく了承された。

日本図書館協会

会長校龍谷大学（甲野）より、先程の国公立大学図書館協力委員会報告に基づき、国公立大学図書館協力委員会の詳細な方向性が決定されるまで、同協会への派遣委員についてはペンドイングとし、会長校の判断により新体制を早急に構築することが了承された。また、この派遣役員の件については、関係大学への説明は会長校である龍谷大学が行うとの説明・提案がなされた。

協議の結果、異議なく了承された。

国立情報学研究所

会長校龍谷大学（甲野）より、同研究所の国際学術情報流通基盤整備事業については、当初の予定どおり3年間で一応の事業が終了した。よって評議員派遣についても終了した。今後、この事業については、運営委員会が中心となって行っていくことになっており、配布資料(P8)のとおり運営委員を派遣していく旨の説明・提案がなされた。

協議の結果、異議なく了承された。

2) 2005年度一般会計・特別会計決算報告書(案)について

会長校龍谷大学（甲野）より、配布資料(P9~12)に基づき、東西合同役員会以降に変更および確定となった箇所を中心に説明された後、同決算について、2006年4月6日付で監事校である早稲田大学および南山大学から監査報告書が提出されたとの報告がなされた。

協議の結果、異議なく了承された。

3) 2006年度事業計画について

会長校龍谷大学（寺本）より、2005年度第2回東西合同役員会において了承されたものを踏襲し、研修制度を研究制度に改めるなど若干の文言修正を行った。については、この事業計画で総会に提案していきたいとの提案がなされた。

協議の結果、異議なく了承された。

4) 2006年度一般会計・特別会計予算(案)について

会長校龍谷大学（寺本）より、2005年度決算の数字が確定したことを受け、2005年度第2回東西合同役員会において了承されたものにこれを反映させた。については、本予算(案)(配布資料P13)を確定したいとの提案がなされた。

協議の結果、異議なく了承された。併せて本予算(案)の総会までの暫定執行が確認された。

5) 協会活動活性化策に伴う規程改正等について

会長校龍谷大学（寺本）より、配布資料(P13)に基づき、2005年度第2回東西合同役員会にて提案した内容について、変更点を確認しやすくするため、新たに提案趣旨文と「新旧比較対照表」を作成し整理した。については、これにより各部会にて諮っていただき意見をいただきたいとの提案がなされた。

協議の結果、異議なく了承された。

尚、研究助成の規程等については、研究助成委員会で精査することとしており、その検討結果によって、若干の修正提案をも含み、その際には、新たに段階を踏んで提案し、総会決定にしたい旨説明され、了承された。

懇談事項

1) 総会 午餐会の進行について

会長校龍谷大学(寺本)より、今年度の午餐会の持ち方について、協会賞の表彰の方々および協賛企業等との懇談機会として今年度は、従来の方法を踏襲しながら午餐会を残していきたいとの提案がなされ、了承された。

2) 議長の選出について

会長校龍谷大学(寺本)より、総会議長について、慣例では次年度地区部会総会の会場校にそれぞれお願いしているが、東地区については、既に青山学院大学に内諾を得ていることから、今年度については、特別な事情ということで認めていただき、次年度以降は慣例どおり行うことで認めていただきたいとの提案がなされ、異議なく了承された。

以上、すべての議事を終了し、議長が閉会を宣した。